

どの宿主要因を解明することにより、その予防を含めた新たな治療法の開発に資する研究を優先する。

- ③ 肝炎ウイルス感染における自然免疫応答の解析と新たな治療標的の探索に関する研究
(22201001)

課題採択にあたっては、肝炎ウイルス感染細胞や個体における自然免疫応答の解明を行うことにより、自然免疫応答賦活化を含めた新規治療標的探索を目指す研究を優先する。

- ④ ウイルス性肝炎に対する治療的ワクチン開発に関する研究 (22201101)

課題採択にあたっては、ウイルス性肝炎に対して、細胞性免疫などの誘導によりウイルス排除や病態改善を目指すワクチンの開発及び実用化に関する研究を優先する。

(ウ) 行政研究分野

- ① B型・C型肝炎ウイルスの新規感染状況の把握と新規感染防止に関する研究

(22201201)

課題採択にあたっては、B型・C型肝炎ウイルスの新規感染における感染源や経路、頻度などの実態を把握するとともに、新規感染防止の対策に関する研究を優先する。

(エ) 疫学研究分野

- ① 肝炎ウイルス感染後の長期経過・予後調査及び治療導入対策に関する研究

(22201301)

課題採択にあたっては、肝炎ウイルス感染後の肝硬変を含めた長期経過の実態を把握するとともに、「感染を知らない持続感染者」及び「感染を知ったが治療導入されない持続感染者」の推計を行い、検査から治療まで継ぎ目のない体制整備を目指す行政施策の推進に資する研究を優先する。

- ② 近未来のウイルス肝炎患者数の動向予測に関する研究 (22201401)

課題採択にあたっては、現行の肝炎対策の状況を踏まえ、統計解析手法を用いた近未来のウイルス肝炎患者数（持続感染者・慢性肝炎・肝硬変・肝がんの内訳を含む）の動向予測に関する研究等を優先する。

【若手育成型】

肝炎研究の分野に新たに参画する研究者を促進し、社会的にも重要な肝炎に関する各種研究の推進を図ることを目的とする研究 (22201501)

本研究では、新たな若手研究者が、肝炎ウイルスに関連する、臨床研究分野、基礎研究分野、行政研究分野、疫学研究分野の研究課題につき、独創性や新規性に富む研究開発課題の提案及び実施を求める。

<研究計画書を作成する際の留意点>

目標を明確にするため、研究計画書の「9. 期待される成果」に、当該研究により期待される科学的成果及び当該成果によりもたらされる学術的・社会的・経済的メリットを具体的に記載すること。また、「10. 研究計画・方法」に、年度ごとの計画及び達成目標を記載するとともに、実際の医療等への応用に至る工程を含めた研究全体の具体的なロードマップを示した資料を添付すること（様式自由）。

なお、研究課題の採択にあたっては、これらの記載事項を重視するとともに、中間評価及び事後評価においては、研究計画の達成度を厳格に評価する。その達成度（未達成の場合